

令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

安城市総合交通会議 （安城市）

平成20年7月31日設置

平成30年4月1日 安城市地域公共交通網形成計画策定
（計画期間：平成30年4月～令和5年3月）

令和2年7月9日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
評価できる取組 ・コミュニティバス全ての停留所の名称表示に外国語表記を追加し、また、バス時刻表及びバスマップを外国語版に修正されたことが確認できました。 ・バスロケーションシステムによる情報提供、Googleマップ等での検索対応、主要バス停に案内人を配置した対応を引き続き実施されていることを評価します。 ・バス時刻表及びバスマップを作成し、調査事業が計画どおり実施されたことが確認できました。	・バスロケーションシステム等による情報提供やバス案内人、バス活用ガイド等により、利用促進を引き続き実施した。	これまで取り組んできた利用促進事業に改善を加えて継続的に実施することで、利用者の回復とさらなる活性化を図りたい。
期待する取組 ・R3年度に予定しているあんくるバスの利用実態調査を確実にを行い、ダイヤや乗り継ぎ等の改善に繋がることを期待します。 ・あんくるタクシーの利用について、利用ニーズやあんくるバスとの接続など、運行形態の分析や改善策を検討されることを期待します。 ・上記の他、周辺市町村との連携を含め、公共交通ネットワークの構築に向けて取り組むことを期待します。	・あんくるタクシーの利用について、地元町内会長の協力のもと、乗り方教室と利用ニーズの調査を実施した。 ・バス利用実態調査を実施し、安城市の課題を整理するとともに、次年度策定予定の地域公共交通計画へ反映する。 ・周辺市との定期的な情報交換を行い、公共交通ネットワークの維持に努める。	・R3バス利用実態調査及びR4市民アンケートより、これまでの取組みを評価するとともに課題を整理し、次期計画に反映させる。 ・周辺市と連携した利用促進策を検討する

<安城市の特性と背景>

- 愛知県のほぼ中央に位置し、人口189,529人（令和3年11月現在）総面積86.05 k m²。
地域特性でもある自動車関連企業が多いことから自動車分担率は7割近くであり非常に高く、公共交通の利用率は約1割と低い状況である。

公共交通が目指す姿

日常生活になじむ公共交通をみんなが利用することによって、気軽におでかけできるまち

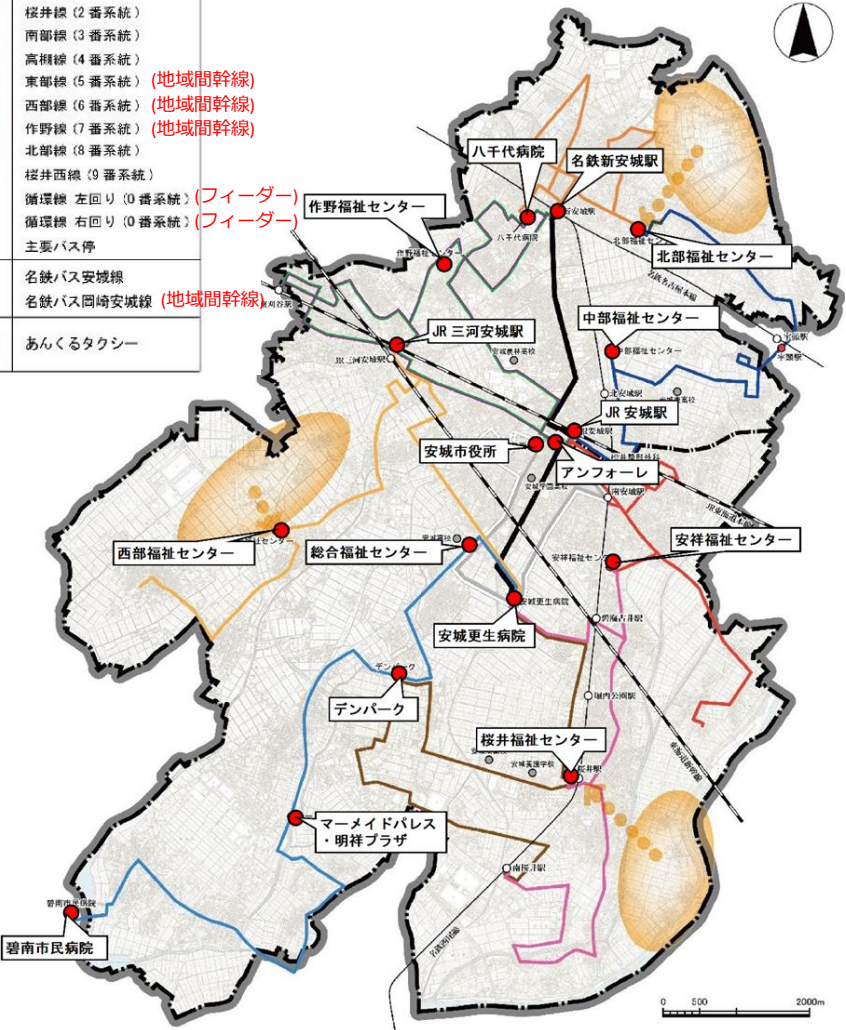
(安城市地域公共交通網形成計画 2018年度～2022年度)

公共交通体系の基本方針

- 基本方針 1 多様な交通手段が相互に連携した持続可能な公共交通ネットワークの維持・活性化
- 基本方針 2 将来都市構造を誘導するために強化した公共交通軸の維持・活性化
- 基本方針 3 公共交通への利用転換を図る各種施策の継続展開
- 基本方針 4 みんなで取り組む仕組みの構築による持続可能な公共交通の実現・活性化

凡 例	
あんくるバス	
安祥線 (1 番系統) (フィーダー)	
桜井線 (2 番系統)	
南郷線 (3 番系統)	
高槻線 (4 番系統)	
東部線 (5 番系統) (地域間幹線)	
西部線 (6 番系統) (地域間幹線)	
作野線 (7 番系統) (地域間幹線)	
北部線 (8 番系統)	
桜井西線 (9 番系統)	
循環線 左回り (0 番系統) (フィーダー)	
循環線 右回り (0 番系統) (フィーダー)	
主要バス停	
名鉄バス安城線	
名鉄バス岡崎安城線 (地域間幹線)	
あんくるタクシー	

<ネットワーク概要図>



＜安城市地域公共交通網形成計画の維持・活性化計画＞

安城市地域公共交通網形成計画の 基本方針	公共交通の維持・活性化計画							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本方針 1	○	○	○	○	○	○		
基本方針 2	○		○	○				
基本方針 3	○	○					○	○
基本方針 4							○	○

- ① サービス水準に応じた運行
- ② 名鉄バス岡崎・安城線の維持・活性化
- ③ 名鉄バス安城線の延伸検討
- ④ 循環線の路線見直し
- ⑤ あんくるバスのサービス改善
- ⑥ あんくるタクシーのサービス改善
- ⑦ 公共交通の利用促進策
- ⑧ (仮称)地域の交通を応援する会の取り組み

＜これまでの主な取り組み＞

○ダイヤ改正の実施（R3.10～）【⑤】

- ・バスロケーションシステムデータでを活用し、各路線の運行状況を解析し、慢性的な遅れの
みられた桜井西線で**ダイヤ改正**を実施

○バス時刻表、バスマップ等の作成、配布【⑤⑦】

- ・**時刻表、バスマップを作成**し、公共施設、バス車内、病院等、市内外の約40か所で**配布**
- ・通常版の他、**外国語版あんくるバス時刻表、バスマップを作成**し、公共施設等に**配布**

○あんくるバス乗り方教室の開催【⑥⑦】

- ・主に高齢者を対象に時刻表、マップ、バス活用ガイドを
用いた**バスの乗り方教室**を実施し、自家用車から**公共交通
への変移**を推進

○バス利用実態調査の実施【⑤】

- ・あんくるバス全線及び市内を運行する路線バス（安城線、
岡崎・安城線）において**乗降調査**を実施。また、同時に
アンケートを配布し、公共交通の現状を把握し課題を整理



（あんくるバス乗り方教室の様子）

○あんくるバス循環線の見直し、名鉄バス安城線の延伸 (H30.10.1～) 【①③④】

利用者の増加に伴い、運転手の休憩時間を考慮し、ダイヤの見直し等以下の内容を実施

- ・循環線の運行ルートを分かりやすくするため、H30.10から**左まわりを右まわりと同様のルートで運行**
- ・パターンダイヤ化を行い、乗り継ぎ拠点となっている安城更生病院では、**右まわりと左まわりが30分おきに運行**（名鉄バスをあわせると、15分間隔でバスが発車）
- ・名鉄バス安城線を市内の主要な観光施設である**デンパークヘー部ルート延伸**を実施

○バスロケーションシステム等の運行情報の見える化 (H26～) 【⑤⑦】

- ・主要なバス停やWEBサイト（あんくるバス乗車案内サイト）でバスの運行情報を提供
- ・ジョルダン、ナビタイム、駅すぱあと、Googleマップ(R1～)であんくるバスダイヤ情報等を提供

○バス案内人業務 (H26～) 【②⑤⑦】

- ・主要バス停にバス案内人を配置し、バスの利用方法、乗り継ぎ案内、施設情報等の各種問い合わせに対応



(安城更生病院バス停のバス案内人)

○バス活用ガイド冊子の作成、配布 【②⑤⑦】

- ・バスの乗り方やバスを使ったお出かけプランの情報等に修正を加え、公共施設等で配布
- ・高齢者の運転による事故の状況や運転免許自主返納の支援事業（あんくるバス無料乗車券2年分プレゼント）の紹介など、警察と協力して作成

○新型コロナウイルス感染防止のための対策 【⑤】

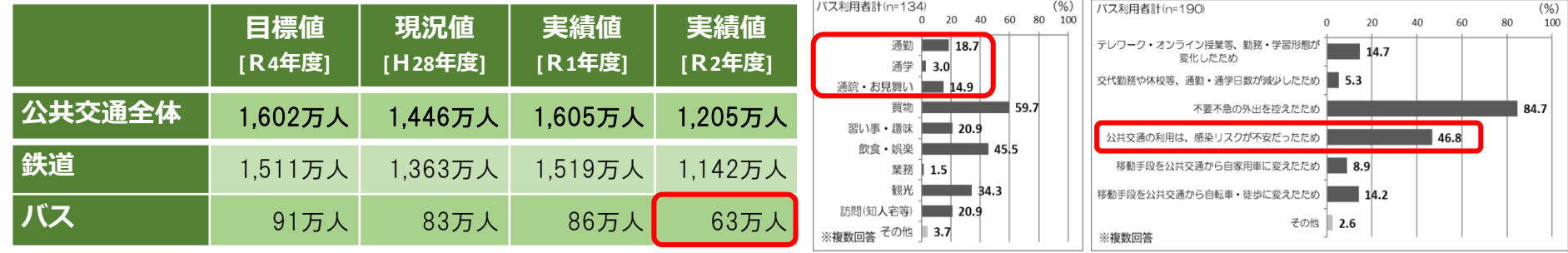
- ・運転席と運賃箱の間にビニールカーテンの設置や定期的に除菌スプレーを散布し、車内の消毒を実施した。

<安城市地域公共交通網形成計画の令和2年度計画達成状況>

R 4.1.7安城市総合交通会議で協議

【目標：公共交通全体の年間利用者の増加】

新型コロナウイルス感染症に伴い公共交通の利用が減った目的と理由 (R3年度バス利用者アンケート)



		R2網形成計画 目標値	利用実績 R2.4～R3.3	達成 状況	確保維持改善 計画目標値	利用実績 R2.10～R3.9	達成率	達成 状況	備考
あんくるバス	循環線 右まわり	102,081	72,458	未達成	195,500	155,040	79.3%	未達成	フィーダー系統 (主な利用:通勤・通学及び通院)
	循環線 左まわり	129,093	72,200	未達成					
	安祥線	25,339	19,769	未達成					
	桜井線	41,619	26,196	未達成				未達成	フィーダー系統 (主な利用:通勤・通学及び通院)
	南部線	34,953	20,390	未達成					
	高棚線	33,917	25,455	未達成					
	東部線	31,116	21,473	未達成	32,000	22,625	70.7%	未達成	地域間幹線系統 (主な利用:通院)
	西部線	59,907	44,776	未達成	60,000	47,083	78.5%	未達成	地域間幹線系統 (主な利用:通勤・通学)
	作野線	58,216	45,045	未達成	60,000	47,251	78.8%	未達成	地域間幹線系統 (主な利用:通勤・通学)
	北部線	37,178	28,177	未達成					
あんくるタクシー(3地区)	桜井西線	49,487	36,717	未達成					
		466	60	未達成					
名鉄バス	岡崎・安城線	48,880	36,562	未達成	48,400	36,553	75.5%	未達成	地域間幹線系統 (沿線の病院・各市の中心市街地)
	安城線	244,918	183,432	未達成					
網形成計画目標値		897,170	632,710	未達成					

- ※網形成計画はR2.4～R3.3、確保維持改善計画はR2.10～R3.9を評価期間としています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症に伴い、**R2年度は評価対象全路線で利用者数の目標値は未達成**
 - ・ 通勤・通学・通院目的の減少割合は相対的に少なく、**市民の生活の足としてバス利用は継続**
 - ・ 公共交通利用における感染リスクの不安を払拭するため、**換気や消毒の感染予防対策の実施状況や車内混雑状況等の情報提供が必要**

<安城市地域公共交通網形成計画の令和2年度計画達成状況>

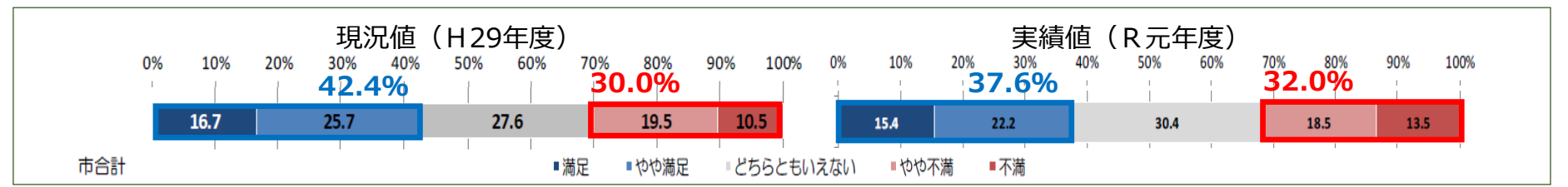
R 4.1.7安城市総合交通会議で協議

【目標：中学校区別の公共交通全体の不満割合の減少】<達成状況>

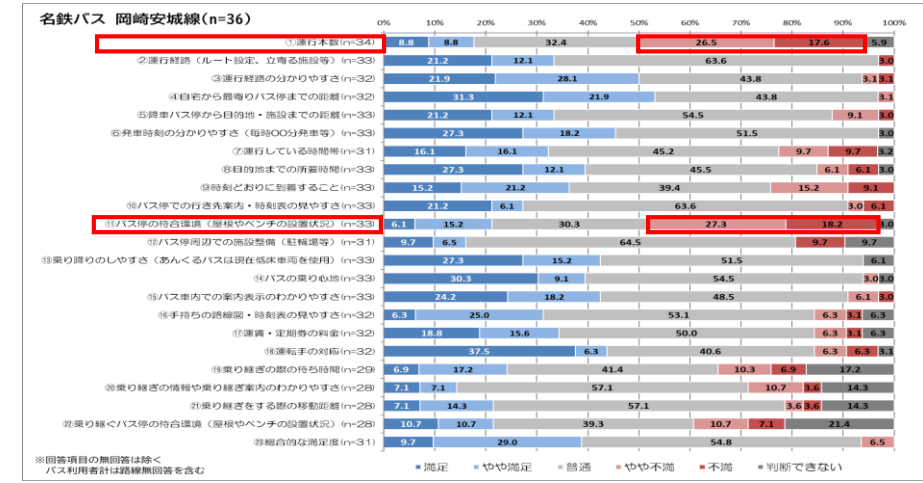
	目標値 [R4年度]	現況値 [H29年度]	実績値 [R1年度]
不満割合	現況値未満	15.0～56.9%	24.3～54.3%

※不満割合：5段階評価で「やや不満」または「不満」と回答された割合

公共交通の満足度（R元年度市民アンケート）



名鉄バス岡崎安城線のサービス項目別満足度（R3年度利用者アンケート）



あんくるバスのサービス項目別満足度（R3年度利用者アンケート）



- ・ 非利用者を主体とする市民アンケートでは、不満割合の変動に大きな変化は見られない
- ・ 不満割合が多い項目（利用者アンケートより）
 - 名鉄バス岡崎安城線：「運行本数（ニーズに合ったダイヤ設定）」「バス停の待合環境」
 - あんくるバス：「運行本数」「運行時間帯」「乗り継ぎの際の待ち時間」

<課題>

- ・通勤・通学・通院目的でのバス利用は継続
- ・買物・飲食・観光目的でのバス利用は減少
- ・名鉄バス岡崎安城線の不満項目への対応
- ・あんくるバスの不満項目への対応



- ・利用者が安心してバスを利用できる感染予防対策の実施状況の情報を提供
- ・商業・観光施策に関連した利用回復のきっかけとなる利用促進策を展開



- ・「運行本数(ニーズに合ったダイヤ設定)」や「バス停の待合環境」のサービス改善を検討
- ・「乗り継ぎの際の待ち時間」への抵抗を緩和する改善策を検討

<取り組み>

○利用促進策の実施

- ・市民の生活の足として機能するバス交通について、利用時の不安を払拭するため、新型コロナウイルスに対する**感染予防対策の実施状況を市HP等で継続的に周知・PR**する。
- ・バスロケーションシステムによる運行情報や、バス活用ガイド、バス案内人、時刻表・マップによる路線情報の**積極的な情報提供により、公共交通への転換**を促す。
- ・子供、子育て世代、高齢者など幅広い市民等を対象に、健幸の増進、環境負荷の軽減に資する**公共交通への理解を深め、利用促進を図る**ため、**まちかど講座などを実施**するとともに、名鉄バス岡崎安城線は、**岡崎市と連携した利用促進策を検討・実施**する。

○公共交通計画の評価と次期計画の策定

- ・令和4年度は市民アンケートの実施および結果に基づく最終評価を踏まえ、安城市における地域公共交通の課題を整理し、**安城市地域公共交通計画案の策定を予定**している。
- ・名鉄バス岡崎安城線は、沿線の住民ニーズや施設立地動向を踏まえた**運行本数(ダイヤ・ルート)等のあり方を検討**する。
- ・あんくるバスは、乗り継ぎする際のわかりやすさ、移動距離、待合環境に対する不満は少ないものの、乗継時間に対する不満割合は多いことから、**乗継抵抗を緩和するダイヤ見直しや運行情報を提供**する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月7日

協議会名: 安城市総合交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国交補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを、 目標ごとに記載。目標・効果が 達成できなかった場合には、理 由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記 載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地 域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果 を生活交通確保維持改善計画にどのように反映 させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載 すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその 旨記載
名鉄バス(株)	あんくるバス 循環線右まわり・左まわ り 安城更生病院～JR安城駅～安城更生 病院	・バスロケーションシステム 等による情報提供やバス案 内人、バス活用ガイド等によ り、利用促進を引き続き実施 した。 ・バス利用実態調査を実施 し、安城市の課題を整理す るとともに、次年度策定予定 の地域公共交通計画へ反映 する。	A 計画どおり事業を実施した。	B 循環線の利用者数は、右まわり が77,624人、左まわりが76,801 人で、合わせて154,425人とな り、目標値である195,500人を下 回った。利用目的は通勤通学や 通院の割合が高い路線である が、新型コロナウイルス感染拡 大の影響により、外出抑制やテ レワークなどの働き方の変化に より利用者が減少したことが考 えられる。しかしながら、コロナ 禍においても約15万人が利用し ており、市民の生活の足として着 実に利用されている。	・令和3年度に実施したバス利用実態 調査及び令和4年度実施する市民アン ケートの結果をもとに、これまでの取組 みを評価するとともに課題を整理し、次 期計画に反映させる。 ・これまで取り組んできた利用促進事 業に改善を加えて継続的に実施するこ とで、利用者の回復とさらなる活性化を 図りたい。
東伸運輸(株)	あんくるバス 安祥線 川島～JR安城駅～川島	・バスロケーションシステム 等による情報提供やバス案 内人、バス活用ガイド等によ り、利用促進を引き続き実施 した。 ・バス利用実態調査を実施 し、安城市の課題を整理す るとともに、次年度策定予定 の地域公共交通計画へ反映 する。	A 計画どおり事業を実施した。	B 安祥線の利用者数は21,122人で あり、目標値である28,500人を下 回った。利用目的は通勤通学の 割合が高い路線であるが、新型 コロナウイルス感染拡大の影響 で、外出抑制やテレワークなど の働き方の変化により利用者が 減少したと考えられる。 しかしながら、コロナ禍におい ても約2万人が利用しており、市民 の生活の足として着実に利用さ れている。	・令和3年度に実施したバス利用実態 調査及び令和4年度実施する市民アン ケートの結果をもとに、これまでの取組 みを評価するとともに課題を整理し、次 期計画に反映させる。 ・これまで取り組んできた利用促進事 業に改善を加えて継続的に実施するこ とで、利用者の回復とさらなる活性化を 図りたい。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月7日

協議会名:	安城市総合交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国交補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	目指す姿:「日常生活になじむ公共交通をみんなが利用することによって、気軽におでかけできるまち」 ＜基本方針＞ ・多様な交通手段が相互に連携した持続可能な公共交通ネットワークの維持・活性化 ・将来都市構造を誘導するために強化した公共交通軸の維持・活性化 ・公共交通への利用転換を図る各種施策の継続展開 ・みんなで取り組む仕組みの構築による持続可能な公共交通の実現・活性化